共同印刷株式会社　会社説明会資料

TOMOWEL
共にある、未来へ

（証券コード：7914）

2024年６月５日／東京証券会館

Ⅰ　会社概要

copyright © 2024 Kyodo Printing Co.,Ltd.

会社概要

社　　名	共同印刷株式会社
本社所在地	東京都文京区小石川4－14－12
設　　立	1925（大正14）年12月 ※創業1897（明治30）年6月
資　本　金	45億1千万円
従業員数	連結3,227名　単体1,851名 (契約社員含まず／2024年2月29日現在)
上場市場	東京証券取引所　プライム市場　（コード：7914）

copyright © 2024 Kyodo Printing Co.,Ltd.

沿革

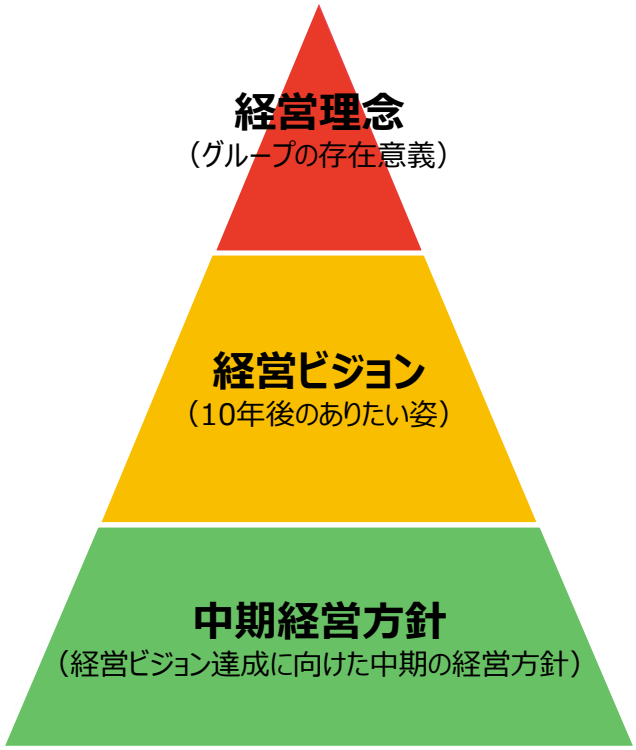
1897年 （明治30）	**創業**：博文館主大橋佐平、現在の銀座6丁目に博文館印刷工場を創設
1898年 （明治31）	現在の所在地である東京都文京区小石川に移転
1925年 （大正14）	**設立**：博文館印刷所と精美堂が合併し共同印刷株式会社発足
1964年 （昭和39）	小田原工場竣工：関東地区におけるラミネートチューブ製造拠点
1981年 （昭和56）	鶴ヶ島工場竣工：ビジネスフォーム・証券類・カード製造拠点
1987年 （昭和62）	守谷工場竣工：紙器・軟包装・高機能フィルム製造
1991年 （平成3）	和歌山工場竣工：関西地区におけるラミネートチューブ製造拠点
1993年 （平成5）	五霞工場竣工：週刊少年ジャンプを中心とする出版商業印刷の生産拠点
2002年 （平成14）	川島ソリューションセンター竣工：データプリント・BPO拠点
2007年 （平成19）	播磨坂スタジオ竣工：キッチンスタジオを有する撮影スタジオ
2015年 （平成27）	ベトナム工場竣工：ASEAN初のラミネートチューブ製造拠点
2017年 （平成29）	インドネシアのArisu社連結子会社化：ASEANでのラミネートチューブ事業拡大
2019年 （平成30）	共同ブローボトル連結子会社化 ：ブローボトル製造拠点
2022年 （令和4）	小石川本社 新社屋竣工

copyright © 2024 Kyodo Printing Co.,Ltd.

経営理念と経営ビジョン

経営理念は、創業以来受け継がれてきた“事業を通して社会の持続的な発展に貢献したい”という思いを表したものです。

2018年度に“10年後のありたい姿”を示した経営ビジョンを策定しました。経営ビジョンの達成をめざし、現在2期目となる2021～2024年度中期経営計画を実行中です。



・経営理念

―印刷事業を核に、
生活・文化・情報産業として社会に貢献する

・経営ビジョン

―私たちは、
誠実なコミュニケーションと市場をリードする技術力で
お客さまの思いをカタチにし、
新たな価値を創出し続ける企業グループをめざします。

・中期経営方針（2021～2024年度）

―豊かな社会と新たな価値を創造するために
未来起点の変革に挑戦

copyright © 2024 Kyodo Printing Co.,Ltd.

CI（コーポレートブランド）

2017年の創業120周年を機に、新たなコーポレートブランドを策定しました。

コーポレートブランド　「TOMOWEL」
コーポレートメッセージ「共にある、未来へ」

TOMOWEL
共にある、未来へ

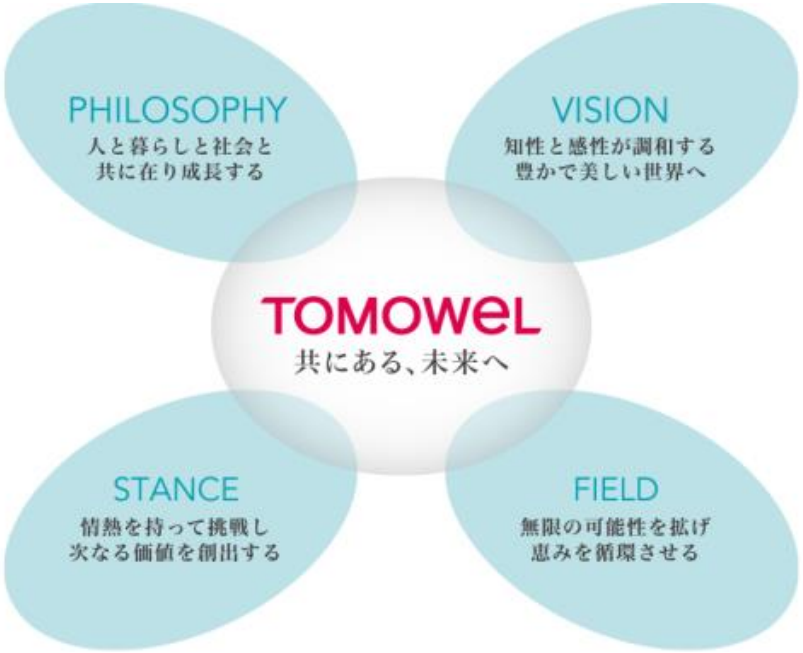
TOMOWELは、「共に良い関係を築く」という意味を込めて名付けられました。
日本語の「とも（共・友・知・智 ）」と、
英語の「WEL（Wellの古語：良い・満ちる・親しみ）」を合わせて
創った言葉です。

「共（とも）」は、共同印刷の「共」でもあります。
私たちのアイデンティティの核であり、
社会における存在価値、そして理想の姿勢を表す言葉であり、
創り出したい未来そのものです。

「関わるすべてと共に良い関係であり、未来を創り拡げていく」
TOMOWELに込めた私たちの想いです。

グループ全体のあるべき姿
「TOMOWEL WAY」

※TOMOWELに基づいたグループ社員の行動指針



copyright © 2024 Kyodo Printing Co.,Ltd.

役員一覧

①	代表取締役社長	藤森　康彰（ふじもり　よしあき）
②	取締役　副社長執行役員	渡邉　秀典（わたなべ　ひでのり）
③	取締役　副社長執行役員	大橋　輝臣（おおはし　てるおみ）
④	取締役　常務執行役員	髙橋　孝治（たかはし　たかはる）
⑤	社外取締役	髙岡　美佳（たかおか　みか）
⑥	社外取締役	内藤　常男（ないとう　つねお）
⑦	社外取締役	光定　洋介（みつさだ　ようすけ）
⑧	常勤監査役	塩澤　幹彦（しおざわ　みきひこ）
⑨	常勤監査役	秋元　秀夫（あきもと　ひでお）
⑩	社外監査役	古谷　昌彦（ふるたに　まさひこ）
⑪	社外監査役	新島　由未子（にいじま　ゆみこ）

（2024年４月１日現在）

copyright © 2024 Kyodo Printing Co.,Ltd.

組織体制

企画・開発部門

技術開発本部
IT統括本部

管理部門

監査室
秘書室

経営企画本部
- 経営企画部
- 戦略推進部
- 関連事業推進部
- サステナビリティ推進室
- DX推進室

グループコーポレート本部
- 経理部
- 法務部
- コーポレートコミュニケーション部
- 人事部
- 資材部

生産統括本部
- 生産統括部
- 施設部

事業部門

情報コミュニケーション

- 情報メディア事業部
- プロモーションメディア事業部
- ビジネスマーケティング部
- コミュニケーションデザインセンター
- コスモグラフィック
- 共同印刷メディアプロダクト
- デジタルカタパルト

出版印刷
商業印刷
電子書籍

情報セキュリティ

- セキュリティテクノロジーセンター
- ビジネスメディア事業部
- 交通事業部
- 共同印刷西日本
- TOMOWEL Payment Service

ビジネスフォーム
BPO
ICカード
証券類

生活・産業資材

- 包装事業部
- Ｌ＆Ｉ事業部
- 共同NPIパッケージ
- 共同ブローボトル
- 共印商貿（上海）
- KYODO PRINTING (VIETNAM)
- PT Arisu Graphic Prima

パッケージ
（紙器・軟包装）
ラミネートチューブ
ブローボトル
高機能材料

その他

- 共同物流
- TOMOWELビジネスパートナー
- 共同印刷ビジネスソリューションズ

※事業部門は事業部と主な子会社を記載／情報コミュニケーション部門の共同印刷マーケティングソリューションズは2024年4月1日付で共同印刷に吸収合併

copyright © 2024 Kyodo Printing Co.,Ltd.

事業拠点

情報コミュニケーション部門　情報セキュリティ部門　生活・産業資材部門　その他（グループ会社など）

1. （株）コスモグラフィック／苫小牧工場
   ⇨プリプレス、デジタル印刷
2. 常磐共同印刷（株）
   ⇨建装材印刷、ブローチューブ製造、ほか
3. 共同ブローボトル（株）
   ⇨ブローボトル製造
4. 共同印刷メディアプロダクト（株）／五霞工場
   ⇨刷版、印刷、製本・加工
5. 鶴ヶ島工場
   ⇨カード製造・発行、証券印刷
6. 川島ソリューションセンター
   ⇨ビジネスフォーム、データプリント、BPO
7. 守谷工場／共同NPIパッケージ（株）
   ⇨紙器・軟包装
8. 共同物流（株）／首都圏物流センター
   ⇨輸送、梱包・保管、アセンブリ
9. 相模原工場
   ⇨ラミネートチューブ製造
10. 小田原工場
    ⇨ラミネートチューブ製造
11. 共同エフテック（株）
    ⇨カード製造・発行、BPO
12. 共同印刷西日本（株）
13. 京都工場
    ⇨ビジネスフォーム、データプリント、BPO
14. 和歌山工場
    ⇨ラミネートチューブ製造

・播磨坂スタジオ
・デジタルカタパルト
・TOMOWEL Payment Service
・TOMOWELビジネスパートナー
・共同印刷ビジネスソリューションズ

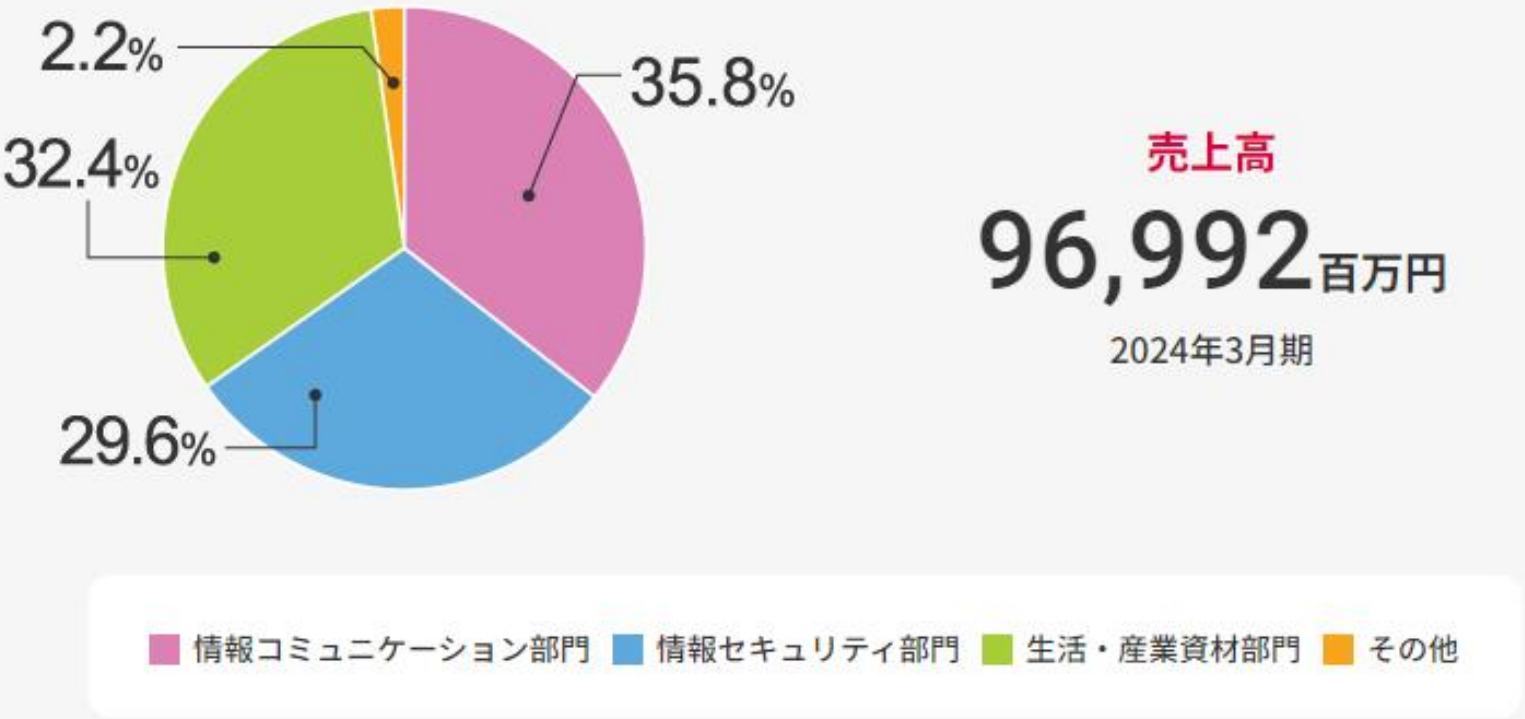
15. 共印商貿（上海）有限公司
    （KYODOPRINTING (SHANGHAI) CO. LTD.）
    ⇨機能性包装材料を中心とした販売および輸出入
16. KYODO PRINTING (VIETNAM) CO. LTD.
    ⇨ラミネートチューブ製造
17. PT. Arisu Graphic Prima Surabaya
    ⇨ラミネートチューブ製造・ほか
18. PT. Arisu Graphic Prima Karawang
    ⇨ラミネートチューブ製造

copyright © 2024 Kyodo Printing Co.,Ltd.

Ⅱ　事業紹介
（主要な製品・サービス）

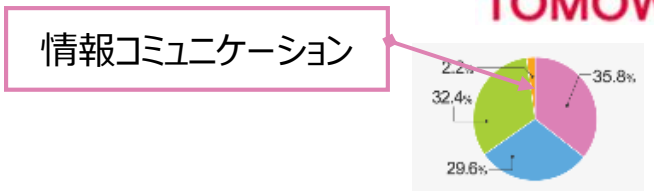
copyright © 2024 Kyodo Printing Co.,Ltd.

セグメント別売上高



copyright © 2024 Kyodo Printing Co.,Ltd.

情報コミュニケーション



雑誌・書籍

出版社の販促品・キャラクターグッズの制作

店頭用販売什器・POP

■出版印刷

〇集英社の「週刊少年ジャンプ」を1968年の創刊時から受注してきたことから、まんがに関連する分野に強み

〇図鑑・絵本などの児童書分野も得意

・出版物の販促キャンペーン企画、まんが・アニメ関連のイベント企画、映画の入場者特典制作
・デジタルコミックアプリ向けのコンテンツ制作

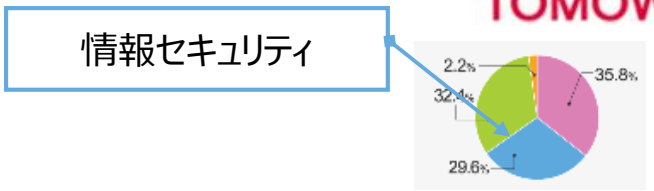
■一般商業印刷

〇自社スタジオと制作チームを有し、カタログや情報誌を企画～撮影～編集～製造まで
一貫生産できる体制が強み

〇店頭販促分野に強く、特に販促什器については化粧品・日用品メーカーや家電メーカーから高い評価

copyright © 2024 Kyodo Printing Co.,Ltd.

情報セキュリティ



BPO（試験運営サポート）

BPO（相続支援サービス）

BPO（健康経営ソリューション）

各種ICカード

証券類（宝くじなど）

■データプリント、BPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）

〇高度なセキュリティ環境を持つ自社工場内にて、顧客情報を専用プログラムで編集し、
　データプリント～封入封緘～発送までワンストップで提供

〇データプリント周辺の事務作業、システム構築、顧客対応などの業務を一括受託するBPOの提供

〇自治体・金融機関中心に、業務改善、ペーパーレス化を支援するシステム開発・運用の受託拡大に注力

■ICカード・乗車券／宝くじ

〇各種ICカードの製造・発行と関連するソリューションを提供、特に交通系ICカードはトップシェア

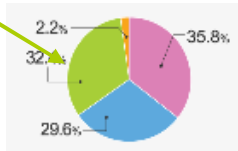
〇各種宝くじの製造および特急券をはじめとする乗車券用紙の製造で高いシェア

〇グループ会社のTOMOWEL Payment Serviceが、法人向け小口決済システム「Bizプリカ」を提供

copyright © 2024 Kyodo Printing Co.,Ltd.

生活・産業資材

生活・産業資材



各種パッケージ

ラミネートチューブ・ブローチューブ

モイストキャッチ®と使用製品イメージ

■パッケージ（紙器・軟包装）

〇食品や日用雑貨、医薬品などのパッケージ製造、商品のネーミングやパッケージデザイン、販促プランなども提案
〇使いやすく安全性に配慮した設計や、リサイクル適性、省プラスチックなど環境へ配慮した包装材の開発

■チューブ（ラミネートチューブ・ブローチューブ）・ブローボトル

〇ラミネートチューブ製造の国内トップメーカーとして、化粧品・医薬品・歯磨き・食品向けのチューブ容器を提供
〇ベトナムとインドネシアに製造拠点を持ち、ASEAN地域に高い品質のラミネートチューブを提供

■産業資材（高機能フィルム）

〇医薬品やエレクトロニクス部品向けに高機能フィルムを提供
〇基盤となる樹脂にさまざまな機能性素材を練りこみ、高い機能性を持つフィルムを製造
　現在、この技術をもとに多様な製品開発を推進

copyright © 2024 Kyodo Printing Co.,Ltd.

Ⅲ　2024年3月期の業績概要

copyright © 2024 Kyodo Printing Co.,Ltd.

2024年3月期　決算ハイライト

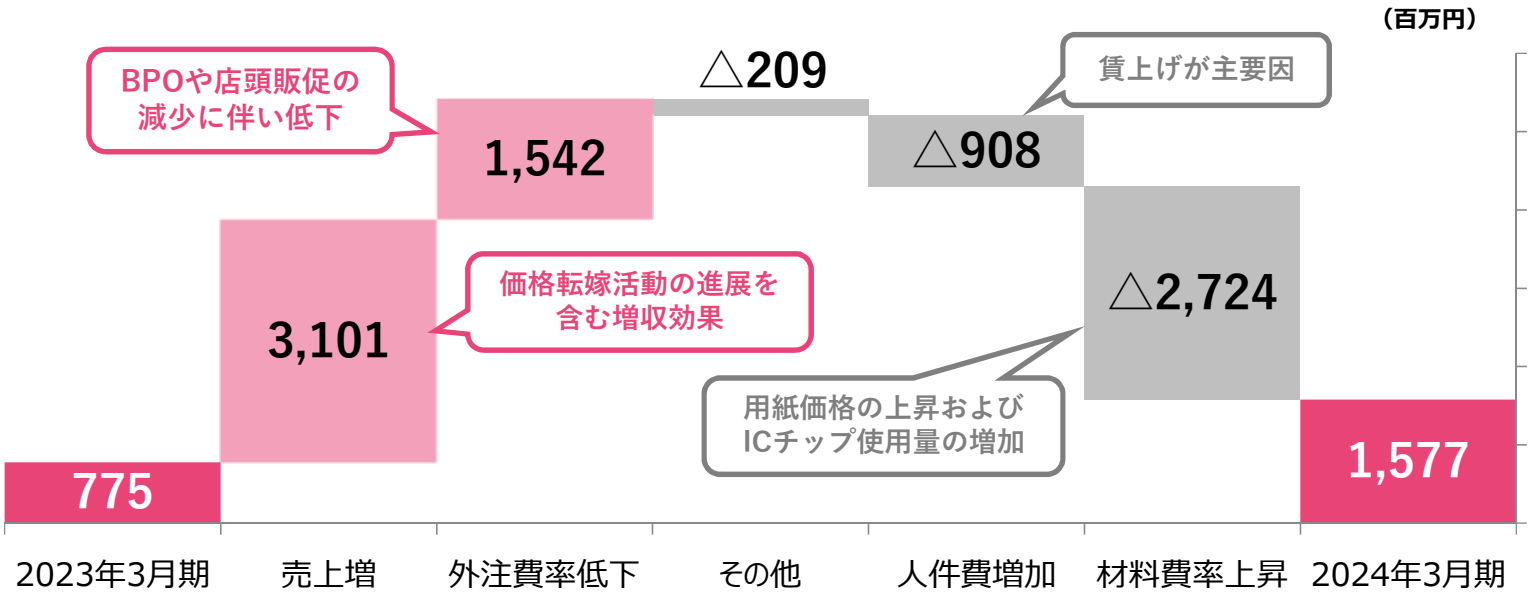
交通関連製品の増加や価格転嫁の進展により業績は前期から改善したが、出版印刷の減少加速とＢＰＯの伸び悩みに加え、棚卸資産評価損の計上もあり、当初予想をやや下回り

（百万円）

	2023年３月期 実績	2024年3月期 実績	前期比	増減率	期初業績予想 （達成率）
売上高	93,363	96,992	+3,628	+3.9%	101,000 （96.0%）
営業利益	775	1,577	+801	+103.4%	1,700 （92.8%）
経常利益	1,289	2,083	+794	+61.6%	2,200 （94.7%）
親会社株主に帰属する当期純利益	1,253	1,495	+242	+19.4%	1,500 （99.7%）

copyright © 2024 Kyodo Printing Co.,Ltd.

営業損益の増減分析



参考：原材料等の価格上昇への対応

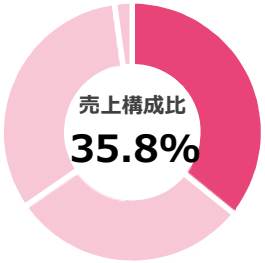
（対前年度／億円）	2022年度 実績	2023年度 想定	2023年度 実績	（内訳）1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績
原材料･エネルギー等価格上昇等影響額	24	38（62）	31.9（55.9）	7.2	14.3	10.3	0.1
価格転嫁による売上増	13	25（38）	26.6（39.6）	4.8	5.5	7.6	8.7

（ ）内は2022年度からの累計額

上昇傾向が落ち着く一方で、転嫁は遅れがあるものの進捗

copyright © 2024 Kyodo Printing Co.,Ltd.

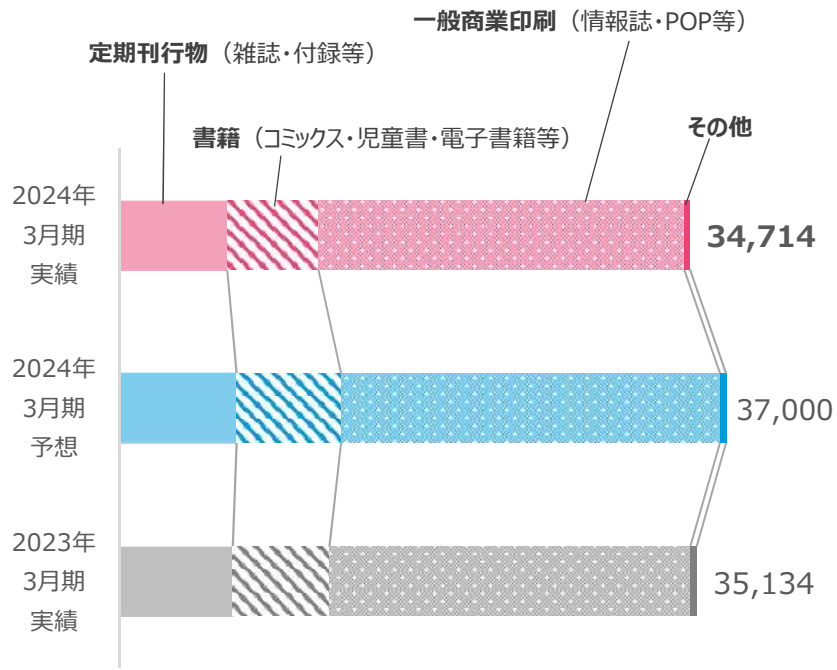
情報コミュニケーション部門



	（単位：百万円）	前期比	業績予想比
売上高 ：	34,714	△1.2%	△6.2%
営業利益：	△286	△88	△686

※業績予想比は2023年5月12日開示の業績予想との比較

●品目別売上増減イメージ



●業績のポイント

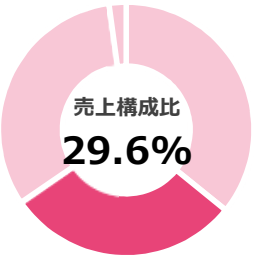
・出版印刷は、定期刊行物・書籍ともに減少
・電子書籍は増加。

・一般商業印刷は、Web案件やDMが好調に推移するも、POPなど店頭販促分野が減少し、前期比では増加したが、目標には届かず。

・固定費は想定を下回ったが、用紙などの原材料価格が高騰し、価格転嫁も進まなかったため利益が悪化した。

copyright © 2024 Kyodo Printing Co.,Ltd.

情報セキュリティ部門



	（単位：百万円）	前期比	業績予想比
売上高 ：	28,697	（ +10.6%	△4.3% ）
営業利益：	1,347	（ +588	△52 ）

※業績予想比は2023年5月12日開示の業績予想との比較

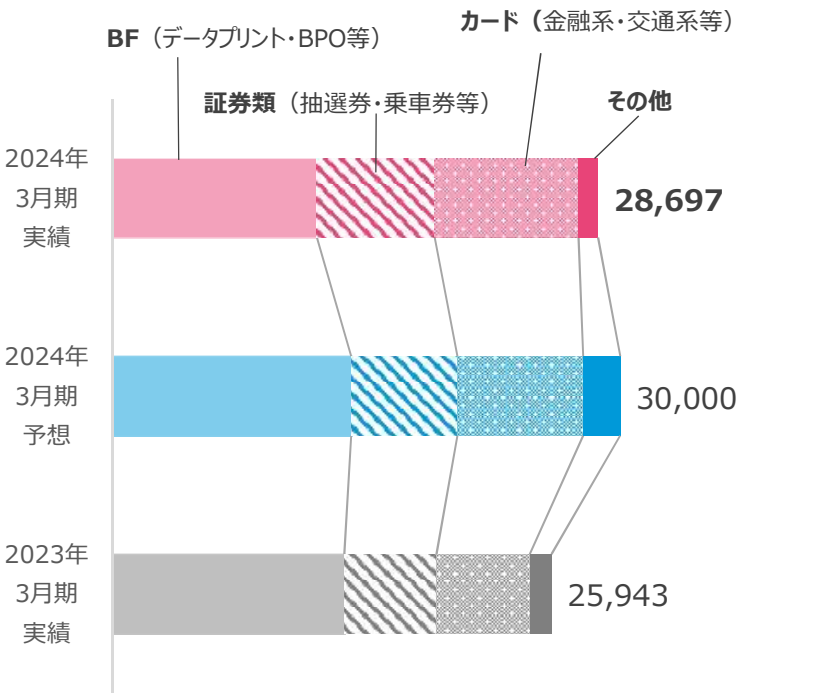
●業績のポイント

・データプリントは自治体などの既存案件が堅調に推移したが、BPOの注力領域である金融や医療の分野で受注を拡大できず、目標を下回った。

・旅客需要の回復に伴い、乗車券や交通系ICカードが増加。生産体制を強化したことも売上高・利益の増加に貢献した。

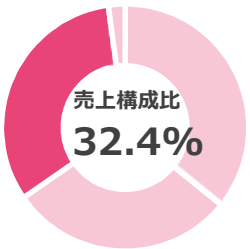
・価格転嫁への取り組みや、受注構成の変化（BPOの減少）により外注費が減少したため、営業利益は前期を上回った。

●品目別売上増減イメージ



copyright © 2024 Kyodo Printing Co.,Ltd.

生活・産業資材部門



	（単位：百万円）	前期比	業績予想比
売上高 ：	31,464	（ +4.6%	△0.1% ）
営業利益：	1,138	（ +965	+388 ）

※業績予想比は2023年5月12日開示の業績予想との比較

●業績のポイント

・食品分野を中心に紙器、軟包装が増加。

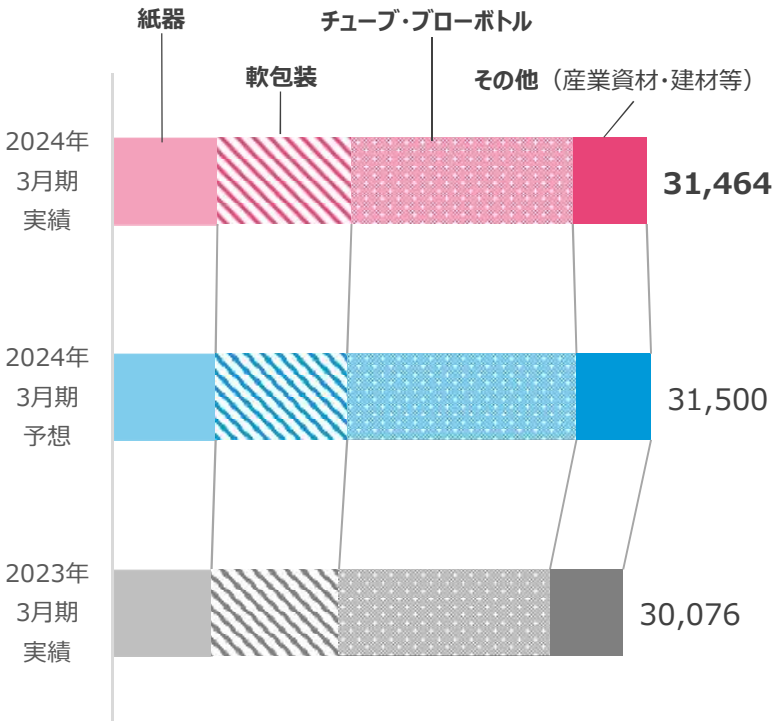
・チューブは、歯磨き向けは計画通りに推移したが、化粧品向けの需要が想定を下回り、前期比増も目標未達となった。

・ブローボトルは、小売価格の値上げの影響で一部製品が苦戦したが、ほぼ想定通りに推移した。

・産業資材は医薬品向けが好調に推移し増加。

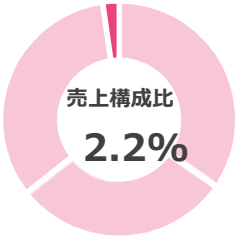
・営業利益は、価格転嫁への取り組みや、固定費が想定以下の水準で推移したことにより、目標を上回った。

●品目別売上増減イメージ



copyright © 2024 Kyodo Printing Co.,Ltd.

その他



	（単位：百万円）	前期比	業績予想比
売上高 ：	2,116	△4.2%	△15.3%
営業利益：	203	△89	―

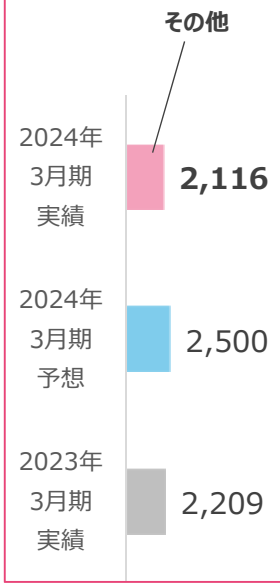
※業績予想比は2023年5月12日開示の業績予想との比較

●業績のポイント

・物流事業は、定期刊行物等の需要減少に伴い輸送業務が低調に推移。セット作業をはじめとする物流加工業務でも新規受注が伸び悩んだため、想定を大きく下回った。

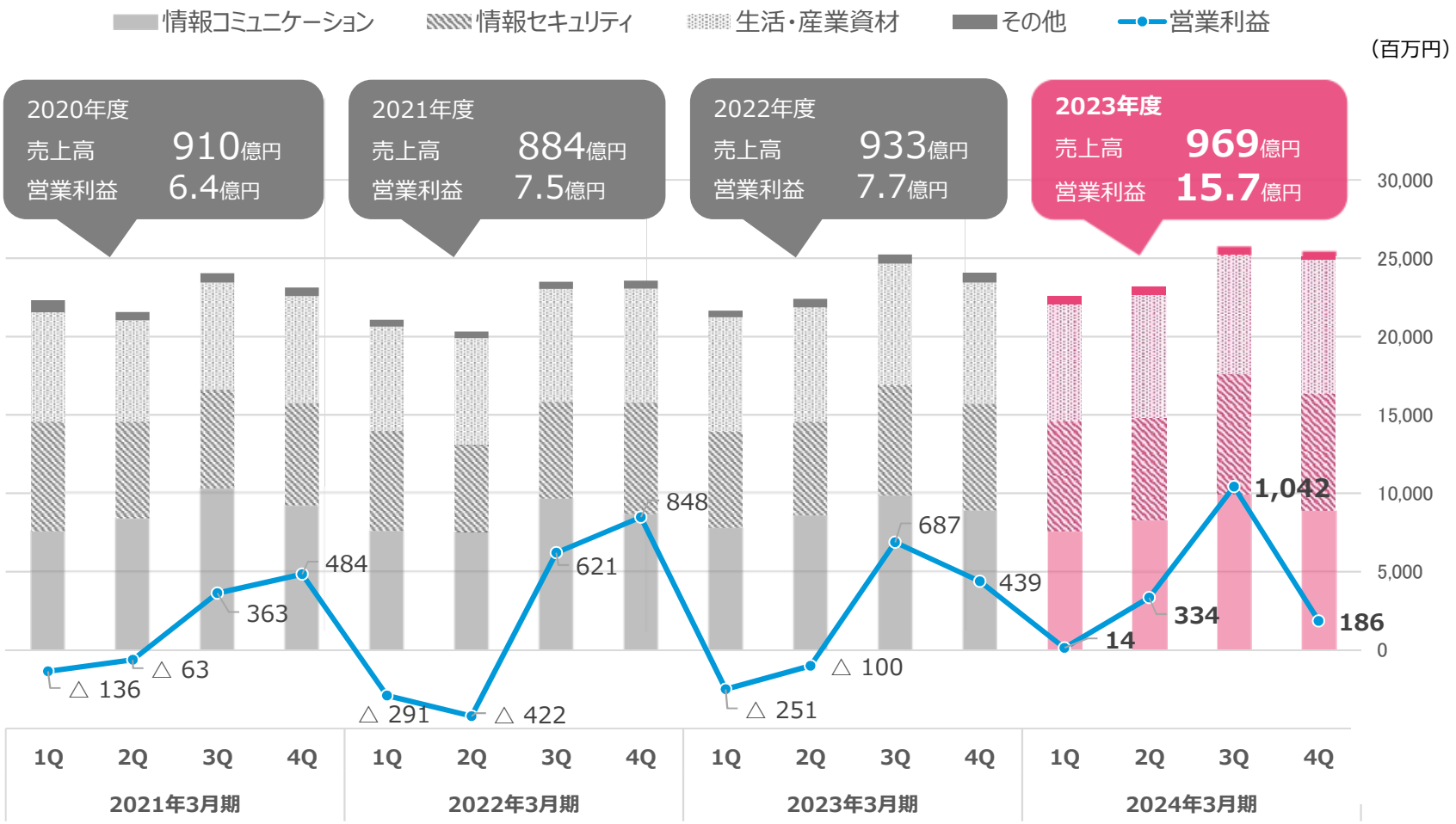
・不動産賃貸収入は計画どおりに進捗。

●品目別売上増減イメージ



copyright © 2024 Kyodo Printing Co.,Ltd.

四半期業績の推移

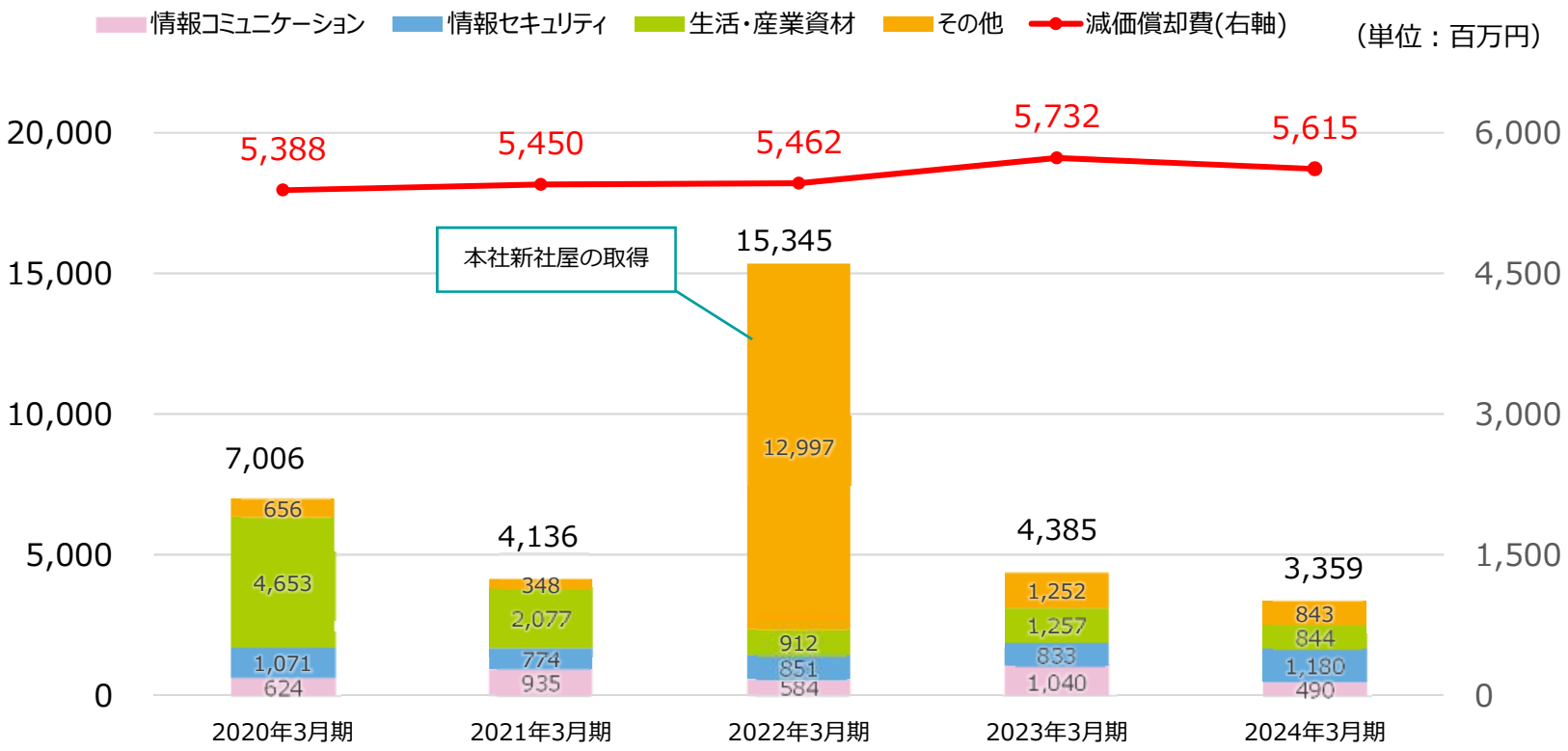


注：2021年度期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用しております。

copyright © 2024 Kyodo Printing Co.,Ltd.

設備投資・減価償却費

大型の設備投資は一段落
各製造拠点における生産効率向上、環境対応に向けた設備導入等を実施



※グラフの設備投資額は完成ベース

copyright © 2024 Kyodo Printing Co.,Ltd.

（参考）損益計算書

（単位：百万円）

	2023年3月期	2024年3月期	前期比
売上高	93,363	**96,992**	3.9%
売上原価	76,077	**77,823**	
売上総利益	17,286	**19,168**	10.9%
販売費及び一般管理費	16,510	**17,591**	
営業利益	775	**1,577**	103.4%
営業外収益	839	**796**	
営業外費用	326	**290**	
経常利益	1,289	**2,083**	61.6%
特別利益	2,349	**409**	
特別損失	1,636	**258**	
税金等調整前当期純利益	2,001	**2,233**	11.6%
法人税等	755	**731**	
非支配株主に帰属する当期純利益	△6	**5**	
親会社株主に帰属する当期純利益	1,253	**1,495**	19.4%

copyright © 2024 Kyodo Printing Co.,Ltd.

（参考）貸借対照表

（単位：百万円）

	2022年3月期 期末	2023年3月期 期末	2024年3月期 期末	前期末比
流動資産	44,025	45,912	**48,074**	2,161
固定資産	85,095	77,558	**83,741**	6,182
資産合計	129,121	123,471	**131,815**	8,344
流動負債	44,531	33,800	**28,504**	△5,295
固定負債	23,312	31,951	**40,190**	8,239
負債合計	67,843	65,751	**68,695**	2,943
株主資本	52,393	51,919	**51,500**	△418
その他の包括利益累計額	8,765	5,770	**11,581**	5,811
非支配株主持分	118	30	**38**	7
純資産	61,277	57,720	**63,120**	5,400
負債純資産合計	129,121	123,471	**131,815**	8,344
自己資本比率	47.4 %	46.7 %	**47.9%**	1.2P

copyright © 2024 Kyodo Printing Co.,Ltd.

（参考）キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,421	23,413	**3,107**
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,632	△4,420	**△2,908**
フリーキャッシュ・フロー	△1,211	18,992	**199**
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,618	△17,359	**266**
現金及び現金同等物に係る換算差額	△40	△23	**△21**
現金及び現金同等物の増減額	△3,869	1,609	**443**
現金及び現金同等物の期首残高	12,760	8,890	**10,500**
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,890	10,500	**10,944**

copyright © 2024 Kyodo Printing Co.,Ltd.

Ⅳ　2021～2024年度
中期経営計画の進捗

copyright © 2024 Kyodo Printing Co.,Ltd.

2021～2024年度中期経営方針

経営理念	印刷事業を核に、生活・文化・情報産業として社会に貢献する
経営ビジョン	私たちは、誠実なコミュニケーションと市場をリードする技術力でお客さまの思いをカタチにし、 新たな価値を創出し続ける企業グループをめざします。
中期経営方針	豊かな社会と新たな価値を創造するために未来起点の変革に挑戦
中長期的な方向性	

中期経営目標 2024年度目標値（策定時）

- 配当性向 30%以上
- ROE 5 %
- 営業利益 38 億円

中期経営計画（2021～2024年度）

2021.3

重点テーマ

- ✓既存事業の事業基盤強化
- ✓新規事業領域の探索
- ✓環境戦略
- ✓人材戦略
- ✓経営管理機能強化

2025.3

- ●既存事業の利益改善
- ●新規事業の育成

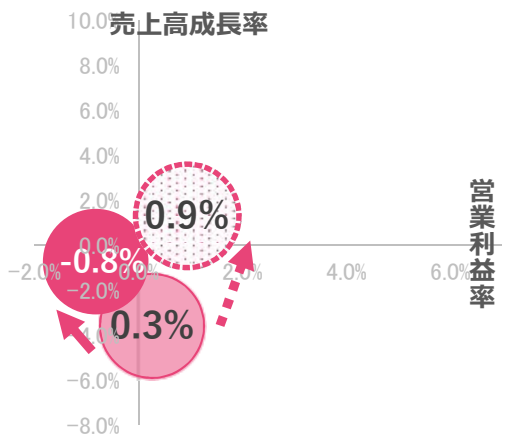
2028.3

- ●他の追随を許さない事業領域の確立
- ●高い利益率の実現

copyright © 2024 Kyodo Printing Co.,Ltd.

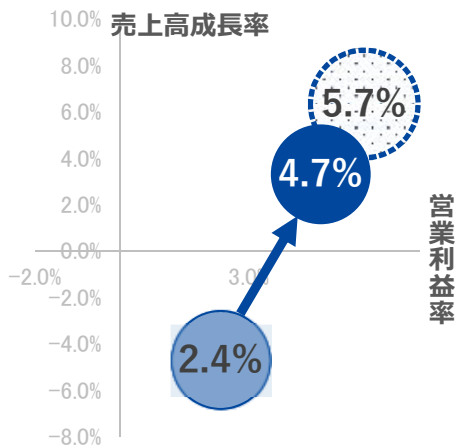
セグメント別の動向

情報コミュニケーション部門



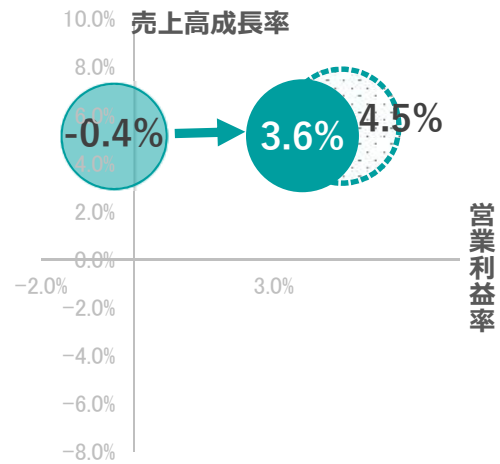
出版印刷の縮小が続き売上高は３ヵ年で減少。電力費や用紙代の高騰、価格転嫁の遅れにより利益率も悪化。グッズやイベント企画、店頭販促分野の受注拡大に取り組む。

情報セキュリティ部門



コロナ禍を経て乗車券・交通系ICカードを中心に売上高が回復。生産設備の強化も奏功し、利益率は改善傾向。医療・金融系分野でのBPO拡大をめざして取り組み中。

生活・産業資材部門



原材料やエネルギーの価格上昇分についての転嫁が進み、売上高・利益ともに順調に拡大した。環境配慮製品の開発と提案活動による受注拡大と、ASEANでのチューブ事業拡大をめざす。

情報セキュリティ部門および生活・産業資材部門については、原材料やエネルギー価格の上昇、人件費の高騰などのコスト増はあるものの、売上高・利益率ともにほぼ中期経営計画の目標に沿って進捗している。
一方、情報コミュニケーション部門については、紙媒体需要の想定以上の減少と価格転嫁の遅れにより、売上高・利益率が悪化している。

円 の 色：淡　色：2020年度売上実績
点線囲み：2024年度売上目標
濃　色：2023年度実績
円の大きさ：売上高
円内の数値：営業利益率

売上高成長率（縦軸）
淡　色：2018～20年度CAGR
点線囲み：2021～24年度CAGR
濃　色：2021～23年度CAGR

copyright © 2024 Kyodo Printing Co.,Ltd.

中期経営目標の一部変更について

これまでの施策の進捗や事業環境の変化を踏まえ、
中期経営計画（2021～2024年度）における2024年度の目標値を一部変更

	変更前	変更後
営業利益	38 億円	31 億円
ＲＯＥ	5 %	変更なし
配当性向	30%以上	変更なし

＜営業利益＞

・2021～2024年度の中期経営計画は、コロナ禍の長期化によって、当初２年間の業績が低迷。
コロナ禍が収束し、乗車券や交通系ICカードなど需要増となっている製品がある一方、この間に加速したデジタル化の影響で、出版印刷など一部事業の市場環境が急速に悪化した。

・中計の策定時には想定していなかった、原材料価格やエネルギーコストの上昇が発生し、一部で対応に遅れがある。
⇒こうした状況を総合的に勘案し、営業利益については当初目標を変更することとした。

＜配当・ROE＞

・資本コストや株価を意識した経営の実現に向け、資本効率性をより一層重視した戦略的な株主還元を行うため、配当性向目標は継続する。

・政策保有株式の早期の縮減に取り組むこともあわせ、ROEの目標も維持する。

copyright © 2024 Kyodo Printing Co.,Ltd.

Ⅴ　2025年3月期　業績予想

copyright © 2024 Kyodo Printing Co.,Ltd.

2025年3月期　業績予想

（単位：百万円）

		第２四半期			通期		
		前年実績	業績予想	（伸長率）	前年実績	業績予想	（伸長率）
売上高		45,741	49,000	(107.1%)	96,992	104,000	(107.2%)
	情報コミュニケーション	15,859	16,500	(104.0%)	34,714	35,000	(100.8%)
	情報セキュリティ	13,572	15,500	(114.2%)	28,697	33,000	(115.0%)
	生活・産業資材	15,290	16,000	(104.6%)	31,464	33,500	(106.5%)
	その他	1,019	1,000	(98.1%)	2,116	2,500	(118.1%)
営業利益		348	500	(+151)	1,577	3,100	(+1,522)
	情報コミュニケーション	△492	△400	(+92)	△286	300	(+586)
	情報セキュリティ	785	700	(△85)	1,347	2,000	(+652)
	生活・産業資材	425	600	(+174)	1,138	1,600	(+461)
	その他（調整分含む）	△370	△400	(△29)	△620	△800	(△179)
経常利益		694	800	(+105)	2,083	3,600	(+1,516)
親会社株主に帰属する当期純利益		335	350	(+14)	1,495	3,250	(+1,754)

copyright © 2024 Kyodo Printing Co.,Ltd.

情報コミュニケーション部門

●2024年度業績予想のポイント

・定期刊行物、書籍など紙媒体の出版物の需要減少はさらに加速すると予測される。

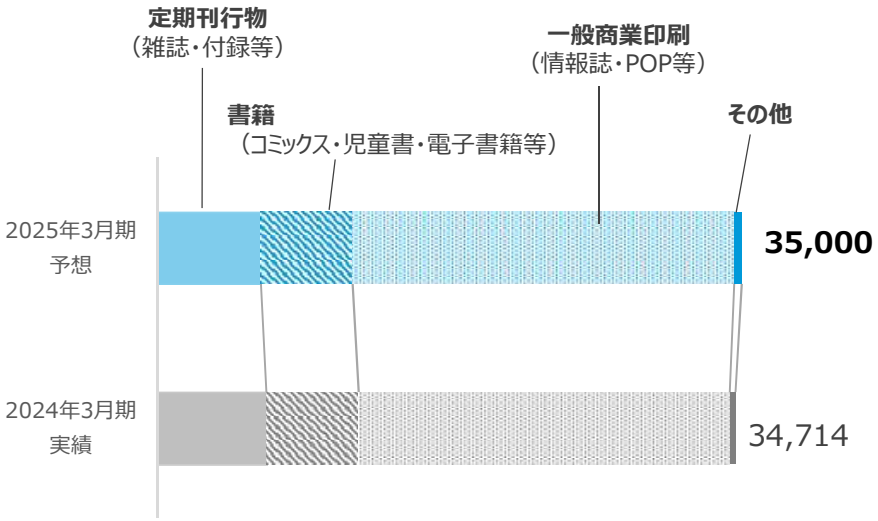
・電子書籍のオリジナル作品拡充に取り組み、作品数を前年比３倍に拡大することをめざす。
グッズやイベント企画などコンテンツ周辺受注に注力しつつ、自社コンテンツやIPビジネスの拡大を視野に入れた取り組みを推進する。

・一般商業印刷では、店頭販促分野やロジスティクスに注力。
自社セミナー開催を通じて店頭販促分野の受注拡大を図る。
ロジスティクスは、医薬品関連やリファビッシュ案件等の受注を拡大する取り組みを本格化させる。

・原材料価格の上昇分について価格転嫁を推進する。
・生産体制の再構築による、固定費削減に取り組む。

（単位：百万円）

		前期比
売上高 ：	35,000	（ +0.8% ）
営業利益：	300	（ +586 ）



copyright © 2024 Kyodo Printing Co.,Ltd.

情報セキュリティ部門

●2024年度業績予想のポイント

・データプリントは。自治体や金融機関の既存案件の継続受注、および適切な価格転嫁を図る。

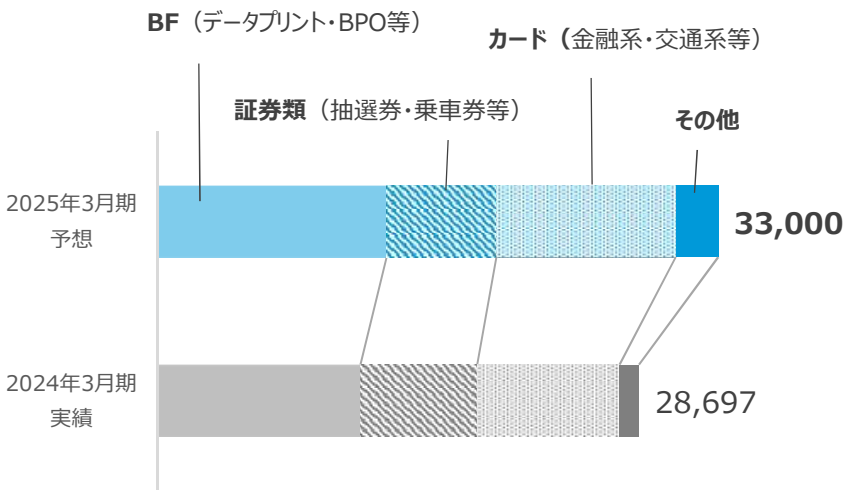
・BPOは、前期から提案を実施している顧客を中心に、金融系DX支援サービスや健康管理サービスの受注拡大をめざす。

・インバウンドによる旅客流動の活性化により、乗車券や交通系ICカードの需要拡大が想定されるため、生産体制を強化して備える。

・決済ソリューション事業は、マーケティング施策やサービス内容の強化を図り、大口案件の受注をめざす。

（単位：百万円）

		前期比
売上高 ：	33,000	（ ＋15.0% ）
営業利益：	2,000	（ ＋652 ）



copyright © 2024 Kyodo Printing Co.,Ltd.

生活・産業資材部門

●2024年度業績予想のポイント

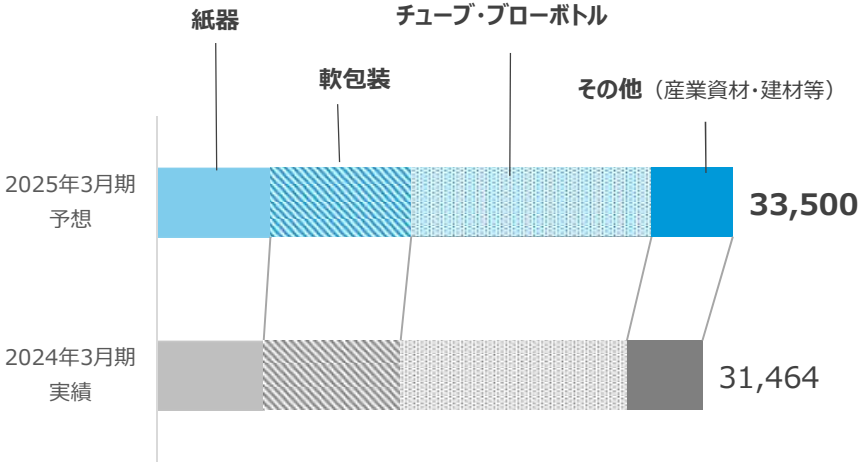
・化粧品チューブの拡販や、パーシャルオープンをはじめとするフタ材の即席めん用途以外への提案に取り組み、受注拡大を図る。

・環境配慮製品については、紙ラミネートチューブを中心に受注を拡大する。

・原材料をはじめとする諸費用については、適切な価格転嫁を実施するとともに、製造工程で発生する端材の再利用や原材料の薄肉化、在庫削減による倉庫運用見直しなど、効率化による一層のコストダウンを推進する。

・プラスチックの再利用に関わるバリューチェーンへの参画や、海外事業の多角化推進による事業の強化に取り組む。

	（単位：百万円）	前期比
売上高 ：	33,500	（ +6.5% ）
営業利益：	1,600	（ +461 ）



copyright © 2024 Kyodo Printing Co.,Ltd.

その他の取り組み

●構造改革について

- 想定以上に市場環境が悪化した事業に関しては、製造拠点の再編など生産体制を再構築
- 研究開発やDX推進のための必要人材の確保をはじめ、人的資本への投資を拡大

●中長期戦略の検討について

・次期中計においてはROE８％以上の実現と継続的に収益力を向上させる戦略を策定

・あわせて以下の事項を検討する

- 必要自己資本額や財務レバレッジの活用を含めた資本構成
- DOEを中心とした配当政策への見直し、適切な自社株買い等による株主還元強化

※決定した重要事項等は決算説明資料、ニュースリリースを通じて適宜開示する

copyright © 2024 Kyodo Printing Co.,Ltd.

Ⅵ　株主還元施策

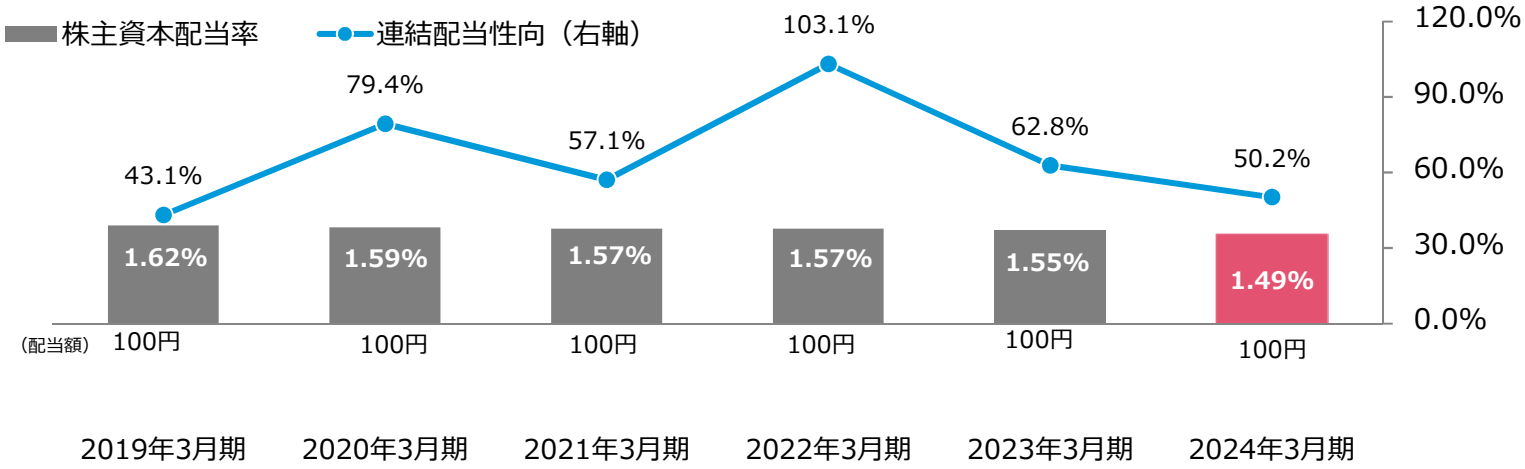
copyright © 2024 Kyodo Printing Co.,Ltd.

配当予想

●2024年3月期の配当について

・2024年3月期の配当：**1株あたり100円（中間50円　期末50円）**の予定
・2025年3月期の配当：以下の方針に基づき、**1株あたり135円（中間55円　期末80円）**の見通し

配当方針：利益配分につきましては、株主の皆さまへの安定的・継続的な利益還元を重視しつつ、企業体質の強化に向けて必要な内部留保とあわせて総合的に判断しており、配当は、連結業績、配当性向のほか、株主資本配当率（DOE）の視点等も踏まえて決定します。（中期経営計画においては配当性向30%以上を目標）



copyright © 2024 Kyodo Printing Co.,Ltd.

自己株式取得

自己株式取得の目的

経営環境に応じた機動的な資本政策の遂行および資本効率の向上を通じて株主利益の向上を図る

2023年11月8日開催の取締役会において決議した自己株式の取得については、以下のとおり終了

●2023 年11 月8 日開催の取締役会における決議内容

(1) 取得対象株式の種類　普通株式

(2) 取得し得る株式の総数　450,000株（上限）　※発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 5.7%

(3) 株式の取得価額の総額　1,200,000,000円（上限）

(4) 取得期間　2023年11月9日から2024年5月31日まで

(5) 取得方法　①東京証券取引所における市場買付け

②東京証券取引所の自己株式立会外買付取引（ToSTNeT－３）による買付け

●上記取締役会決議に基づき取得した自己株式の累計（2024 年2 月1 日現在）

(1) 取得した株式の総数　354,500 株

(2) 株式の取得価額の総額　1,199,698,500 円

copyright © 2024 Kyodo Printing Co.,Ltd.

株主優待

●共同印刷オリジナルQUOカード

・基準日　：毎年9月末日および3月末日

・対象者　：基準日現在の株主名簿に記載または記録された、当社株式を100株以上または300株以上、継続して6カ月以上保有※する株主さま

・贈呈時期：9月末日基準日　12月上旬送付予定
3月末日基準日　　6月下旬送付予定

保有株式数	優待品の内容
100株以上300株未満	QUOカード　1,000円相当
300株以上	QUOカード　3,000円相当

※継続して6カ月以上保有とは、毎年3月末日および9月末日の基準日現在の株主名簿に同一株主番号で、100株以上または300株以上の保有記録が連続して記載または記録されていること

●共同印刷オリジナルカレンダー

・基準日　：毎年3月末日

・対象者　：基準日現在の株主名簿に記載または記録された、当社株式を100株以上保有する株主さまのうち、送付を希望される方

・贈呈時期：12月中旬送付予定

copyright © 2024 Kyodo Printing Co.,Ltd.

当資料は、投資家の皆さまに共同印刷株式会社への理解を深めていただくことを目的として、
経営や財務に関する情報を提供するものです。

以下の点をご了解の上、ご覧ください。

・業績予想などは、作成時点において当社が予測しうる範囲内で作成したものです。
・記載の業績予想などとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでいることをご承知ください。
・投資に関する決定は、投資家ご自身のご判断において行われるようお願いします。
・掲載内容については細心の注意を払っておりますが、不可抗力によって情報に誤りを生ずる可能性もありますので、ご注意下さい。

【お問い合わせ先】
共同印刷株式会社　コーポレートコミュニケーション部
E-mail：koho@kyodoprinting.co.jp
Webサイト：https://www.kyodoprinting.co.jp/